

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	かのん保育園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	園長 森田 秀憲	定員（利用人数）：	90（97）名	
所在地：	236-0043 神奈川県横浜市金沢区大川7-20			
TEL：	045-790-3656	ホームページ：	https://ssl.kanon2005.com/	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	2005年7月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 みどり会			
職員数	常勤職員：	15名	非常勤職員：	41名
専門職員	保育士	30名	栄養士	0名
	看護師	1名	調理員	0名
	用務員	4名		
施設・設備の概要	居室数：	乳児室2、保育室6、 ホール2、調理室2、 事務室2、園庭2、 相談室1	設備等：	エレベーター、屋上プール、 駐車場、駐輪場、 ベビーカー置き場、冷暖房、 床暖房

③理念・基本方針

保育理念：「生命を大切に、思いやりの心を育てる」
 保育目標：「自立する心・自律できる心を育む」
 基本方針：
 ・子どもの最善の利益の実現を目指すこと、および保護者・地域の親子に対して子育て支援を行い、もって乳幼児の健全な育成に貢献する。
 ・自分を尊重し、相手も尊重する気持ちを育てていく。
 ・子どもの発達段階を熟知し、子ども自身の力（自らを成長・発達させる力）を信じ、それぞれの発達段階にある子どもを一人ひとり観察し、その子に適切な環境づくり、援助をしていく。
 ・自分の行動を自ら選択でき、してよいこと・いけないことの判断ができる、そして正しい価値観を持って成長できるように援助する。
 ・子どもは愛情と信頼を受けて過ごす環境の中でこそ自尊感情と他者を思いやる気持ちが育つということを踏まえ、子どもの「こころ」を大切に保育を行う。
 ・大人がコントロールするのではなく、誘いや仕掛けを用意しながら、子どもが主体的に楽しく生活できる保育を目指す。

④施設・事業所の特徴的な取組

開園時からモンテッソーリ教育を導入し、当園の保育の基本として大切にしています。職員は「モンテッソーリ教師の12の心得」を理解して子どもに接し「自立する心・自律できる心」をはぐくんでいます。そのほかヨコミネ式体操、英語、音楽・茶道、運動などさまざまな専科プログラムを導入し、子どもたちの経験の幅を広げています。

全クラスに複数担任制を敷いています。子ども一人ひとりの育ちを複数の職員でいていねいとらえ、その子どもに合った支援に努めています。また、職員の育成には原則として経験の豊富な職員と経験の浅い職員とを組み合わせ、保育技術の引き継ぎや、自分自身の保育の見直しができるようにして、保育の質の向上につなげています。

利用希望者向けの園見学ツアーを随時受け付け、モンテッソーリ教育の様子や園の設備などについて園長自らが説明しています。そのほか小学校教員や外部保育園などの見学も受け入れ、園の取り組みへの理解と事業の透明性の確保につなげています。また、在園児の保護者には、保育参加行事として保育士体験に参加してもらい、園は保護者から寄せられた意見や要望を参考にしながら、より良い保育サービスの提供に向けて取り組んでいます。

業務改善の一環としてICT化を推進しています。保育業務支援システムや情報共有アプリの導入により、保護者と職員との円滑なコミュニケーションや情報共有を図っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月26日（契約日）～ 2022年9月29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2016年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆モンテッソーリ教育を通して、子どもたちの自立心と自律心を育てています

モンテッソーリ教育を園の保育の中心に据え、園全体で子どもたちの自立する心・自律できる心の育ちを温かく見守りながら保育を実践しています。子どもたちは日々、自分で教具を選び取り、文字やパズル遊び、昨日の続きのお洗濯など、めいめいにお仕事に取り組んでいます。その時間帯には1、2歳児、3～5歳児それぞれが異年齢保育を行っており、子ども同士の模倣や学び合いを通して社会性や協調性をはぐくんでいます。職員の約7割がモンテッソーリ教師の資格を取得しており、高い専門性をもって子どもの自発的な成長を支援しています。また、園はモンテッソーリ教師養成校の研修実習園にも指定され、その専門知識の普及にも努めています。

◆全クラスに複数担任制を敷き、子ども一人ひとりに適切にかかわっています

0歳児から5歳児までの全てのクラスに複数担任制を敷き、子どもたちの安全を守り、子ども一人ひとりの育ちを多角的にとらえて保育計画に反映し、日々の保育を実践しています。職員は過度な支援とならないよう子どもたちの力を信じ、見守り、適切な場面で適切なかかわりができるよう努めています。遊びを選ぶのに迷っている子どもには職員がそっと寄り添い、過去の活動記録を参考に遊びの提案をするなど、子どものサインを見逃さず、ちょうど良いタイミングで適切な声かけをしています。子どもたちは見守られている安心感と、たっぷり注がれる愛情の中で、自尊感情や他者を思いやる気持ちをはぐくんでいます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、園として3回目の第三者評価を受審致しました。前回の受審では様々なご意見から多くの問題点に気付くことができ、少しずつですが確実に改善を重ねていくことができました。

そして今回の受審においては、長引くコロナ禍で十分な運営や保育が提供できていなかったにもかかわらず、特に保護者の皆様からたくさんの高評価をいただいたことに驚くと同時に大変嬉しく思っています。身に余るほどの評価だとは思いますが、職員の自信につながり、園の方針・目指すべき方向としても明確にさせていただけたと考えております。

前回と同様、気付かせていただいた問題点には誠実に向き合い、より良い園にしていきたいと思えます。

ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり